

2015年（平成27年）通常総会

第11期

2014年10月1日～2015年9月30日

仮認定特定非営利活動法人
フリースペース・うえるびー

開催日時：2015年11月22日(日)

会場：しまだ楽習センター「クラシカ」

第5楽習室

次 第

1. 開会の辞
2. 代表理事 挨拶
3. 議長選出
4. 議事
 - 第 1 号議案 第 11 期 活動報告
 - 第 2 号議案 第 11 期 活動決算
監査報告
 - 第 3 号議案 役員を選任について
 - 第 4 号議案 役員報酬について
 - 第 5 号議案 第 12 期 活動計画 (案)
 - 第 6 号議案 第 12 期 活動予算 (案)
 - 第 7 号議案 会費の額について
 - 第 8 号議案 借入金について
5. 閉会の辞

なお、総会閉会后、仮認定特定非営利活動法人についての説明と
ノーマライゼーション実現事業と社会参加事業の説明を行います。

第 1 号議案

第 11 期 活動報告

1. 障害者福祉総合支援法に基づく福祉サービス事業
別紙 1. 居宅介護、同行援護、行動援護、重度訪問介護サービス
2. 障害者福祉総合支援法に基づく相談支援事業
活動なし
3. 障がいをもつ子どもの放課後等デイサービス事業
別紙 2. おれんじ柳町、おれんじ初倉、おれんじ坂口、おれんじ中溝
4. 障がいを持つ人の生活介護と就労継続支援 B 型事業
別紙 3. 生活介護「かりん」 B 型事業「りんご」
5. 障がいをもつ人への移動サービス
別紙 4. 移動支援事業、有償運送
6. ノーマライゼーションの理念を実現する事業
障がいをもつ人の社会参加支援事業
別紙 5.
7. その他 この法人の目的を達成するために必要な事業
別紙 6. うえるびー研修、外部研修

別紙 1

| | | | | | |
|---|-------|--------|------|--------|-------|
| 仮認定特定非営利活動法人フリースペース・うえるびー第11期 活動報告書2014年10月1日~2015年9月30日 | | | | | |
| 事業名 | | | | | |
| 福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護） | | | | | |
| 目的 | | | | | |
| <p><居宅> 利用者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに外出時における移動の援護、その他の生活全般にわたる援護を適切かつ効果的に行うものとする。</p> <p><重度訪問介護> 重度の肢体不自由者で常時介護を必要とする方に対して、居宅において入浴・排せつ・食事等の介護サービスや調理・洗濯・掃除等の家事援助、その他の生活全般にわたる見守り等の支援を行います。</p> <p><行動援護> 知的障がいまたは精神障がいにより、行動上著しい困難を有する知的障がい者・障がい児・精神障がい者に対して、常時介護を必要とする方を対象としたサービスです。</p> <p><同行援護> 視覚障がいにより移動に著しい困難を有する障がい者等に対して、外出時において、ガイドヘルパーが同行し、移動に必要な情報の提供や移動の援護を行います。</p> | | | | | |
| 実施概要 | | | | | |
| <p><活動実績> 居宅等サービス事業（居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護）</p> <table><tr><td>年間稼働日数</td><td>365日</td></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>2400人</td></tr></table> | | 年間稼働日数 | 365日 | 延べ利用者数 | 2400人 |
| 年間稼働日数 | 365日 | | | | |
| 延べ利用者数 | 2400人 | | | | |
| 成果 | | | | | |
| <p><居宅> 継続的に支援をしているので、家族からの信頼を得ている。</p> <p><重度訪問介護> 利用者様の「安全に在宅生活を送りたい。」「家族による介護負担を軽くしたい」等の気持ちに寄り添うようなケアができた。</p> <p><行動援護></p> | | | | | |

| |
|---|
| <p>利用している方は少人数だが、経験豊富なヘルパーが担当しています。県の指導でヘルパーの経験や研修が重要になってきているので、人材の確保がこの事業を左右すると認識しています。</p> <p><同行援護></p> <p>健康増進、知的向上に利用している方が多いようです。島田ローズアリーナのジムやプールを利用したり、パソコン習得のために静岡に通う方もおられます。</p> |
| <p>今後の課題</p> |
| <p><居宅><行動援護><同行援護>いずれも人材確保と育成が必要です。</p> <p><重度訪問介護></p> <p>今後サービスの提供時間がほぼ24時間に拡大していくことも予想されるため、人材確保と育成に努めていかなければならない。</p> |
| <p>支出額</p> |
| <p>19,764,135</p> |

仮認定特定非営利活動法人フリースペース・うえるびー第11期

事業報告書 2014年10月1日~2015年9月30日

事業名

放課後等デイサービス「おれんじ柳町」

目的

児童福祉法等関係法令の理念に則り事業を行う。

- ① 障がい児の生活能力の向上のために必要な訓練を行う。
- ② 社会との交流を図ることができるよう、身体及び精神の状況やその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。
- ③ 上記①②のために個別支援計画に基づき必要なサービスを適切に行う。

実施概要

- ① 年間稼働日数 239日
- ② 延べ利用人数 2,247人/1日当の定員10人
- ③ 指導・支援の流れ
 1. 「おれんじ」に着いたら、まずうがい手洗いをする。
 2. 課題ルームで個々の課題、または宿題に取り組む。
 3. それが済んだら、フリールームで好きな事、得意なことをして過ごす（図書館や公園などに出かける場合もある）。
 4. 帰りの会の当番、配膳の手伝い、食器洗いの手伝い、帰りのあいさつ等それぞれの役割をやり遂げる。

上記の生活能力の向上のためには外から「おれんじ」に入るとき及び食事の前の手洗い、あいさつなど基本的な生活動作やコミュニケーションを繰り返し練習することと、構造化や情報を視覚化することで子どもの理解を助ける方法を工夫している。
- ④ その他の活動 長期休暇中、以下の活動を行った。
 - ・工場見学（大塚製薬、富士食品）、
 - ・昼食作り（焼き鳥丼、餃子、パンケーキ、ハンバーグ等）
 - ・おやつ作り（五平餅、クリスマスケーキ、ドーナツ、アイスクリーム等）
 - ・手芸（靴下縫いぐるみ）
 - ・工作（浮沈子、虫眼鏡カメラ、粘土、手形、足形、万華鏡作り）
 - ・買い物体験（おやつの購入）
 - ・お出かけ（お花見、音戯の郷、プラネタリウム、ディスカバリー展示室、防災センター見学、ふいしゅーな、バーベキュー、昆虫館、航空資料館、田中城跡見学、日本平動物園等）

- ・静岡県障害者スポーツ協会による巡回指導
- ・ボランティアの方による活動（読み聞かせ、手品等）

成果

1. 「おれんじ」での過ごし方については、ほとんどの児童に身につけてきている。また、内装工事後は特に、課題への取り組みも良くなってきている。
2. 「課題が終わったら好きなことができる」という意識付けができてきた。
3. 帰りの乗車時間 15 分前の帰りの会も、定着しつつある。
4. 他の子どもと関わるのが苦手な児童も、同じ空間で過ごすことや、他の児童の声が聞こえている中で過ごすことに慣れつつある。又、今までお友達に全く興味を示さなかった児童が、お友達の手を引いて遊びを要求したり、低学年のお友達に頬を寄せ可愛がる等の変化も見られる。
5. 工場見学や市のバスを借りた際、「お願いします」の挨拶やお礼の言葉が児童たちから自然に出てくるようになった。また、一人が「運転手さん、ありがとう」と言うと、それを聞いた他の児童からもお礼の言葉が自然と出るようになり、良い連鎖がみられるようになった。
6. 昼食作りやおやつ作りでは、それぞれが自分の役割を果たせるようになってきている。玉ねぎのみじん切りなども、最後までやり遂げることができるようになった。
7. 工作や手芸では、初めての事にも興味を持ち、集中して取り組める児童が増えてきた。また、それと同時に完成させる喜びや達成感も味わうことができているようだ。
8. 買物体験では、決められた金額の中でどのように買い物をするか、それぞれが考えている。1 つ買って満足する児童、“数で勝負！”駄菓子をたくさん買いたい児童、決められたお金を余すことなく使い切りたい児童など、それぞれ買い方にも個性があって面白い。また、買ったお菓子を交換し合い、コミュニケーションをとっている。
9. お出かけでは、挨拶や公共の場でのマナーを中心に、身近なことを学んだり、お友達と協力し合ったり、集団行動や時間配分等を学ぶ機会としている。挨拶やタイムキーパーなどの係を決めることで、責任感が生まれ集団行動をしようという意識が芽生えつつある。また、見学先では係の方にわからないことを質問するなど、積極的に学ぼうとする姿も見られるようになり、他者との関わりや自分をとりまく環境等に興味を持ち始めてきたと感じる場面が増えた。

今後の課題

- ① 余暇や趣味が見つかったりしている児童が少ない。どんなことに興味があるのか、どんな遊びに「はまる」のか、更に試行錯誤していききたい。
- ② 小学 1 年生から高等部 3 年生までの異年齢の集団で、かつ、持っている障がいも多様な方たちなので、他の子どもとのトラブルが起こらないように細心の注意を払うことと、それぞれの子が快適に過ごせる方法を探し続けていきます。
- ③ 遊びと遊びでない時の切り替えに時間がかかる。真剣に取り組む場面では、良いモデル（スタッフまたは対応できる児童）を見せることで、他の児童にも習慣づけていきたい。

支出額

14,751,809 円

| |
|---|
| 仮認定特定非営利活動法人フリースペース・うえるびー第11期 活動報告書2014年10月1日~2015年9月30日 |
| 事業名 |
| 放課後等デイサービス「おれんじ初倉」 |
| 目的 |
| 児童福祉法等関係法令の理念に則り事業を行う。 ① 障がい児の生活能力の向上のために必要な訓練を行う。 ② 社会との交流を図ることができるよう、身体及び精神の状況やその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。 ③ 上記①②のために個別支援計画に基づき必要なサービスを適切に行う。 |
| 実施概要 |
| ① 年間稼働日数 239日 ② 延べ利用人数 2,589人/1日当の定員10人 ③ 指導・支援の流れ <ol style="list-style-type: none"> 1. 「おれんじ」に着いたら、まずうがい手洗いをする。 2. 課題ルームで個々の課題、または宿題に取り組む。 3. それが済んだら、フリールームで好きな事、得意なことをして過ごす。 4. 無理の無い範囲での手伝い、あいさつ等社会生活に必要な習慣を身に付ける。 <p style="text-align: center;">上記の生活能力の向上のためには外から「おれんじ」に入るとき及び食事の前の手洗い、あいさつなど基本的な生活動作やコミュニケーションを繰り返し練習することと、構造化や情報を視覚化することで子どもの理解を助ける方法を工夫している。</p> <p>その他の活動</p> ① <内容>クリスマス会 <実施時期>12月24日 <場所>おれんじ初倉 ② <内容>施設見学 <実施時期>長期休暇時 <場所> 工場や公共施設など（静岡放送、大塚製薬、焼津市消防防災センター、島田市田代環境プラザ、富士山静岡空港など） ③ <内容>交流活動 |

| |
|---|
| <p><実施時期>長期休暇時</p> <p><場所>吉田児童館、向谷公園など</p> |
| <p>成果</p> |
| <p>① 「おれんじ」での過ごし方についてはほとんどの子どもが身につけてきた。</p> <p>② 「課題が終わったら好きなことができる」という流れが理解で来ている。</p> <p>③ 帰宅時間の30分前に片づけ、トイレ → 本の読み聞かせや手話を交えた歌 → 帰りの会という流れも定着しつつあり、落ち着いた雰囲気での帰りの車に乗れることが増えた。</p> <p>④ 他の子どもと関わるのが苦手な子どもも、同じ空間で過ごすことや、他の子どもの声が聞こえてる中で過ごすことに慣れてきたり、関心を持つ場面も出てきた。</p> <p>⑤ クリスマス会でのビンゴゲームや、通常時のフリールームでのすごろく、トランプやかるたなど、ルールのあるゲームに参加したり、理解して楽しめる子も出てきた。</p> <p>⑥ 施設見学では、最初にルールやマナーを説明する、何度か経験を重ねていくことなどで、落ち着いて参加できる子が増えてきた。</p> <p>⑦ 交流活動では、施設の職員だけでなく、施設を利用している保護者や子どもたちとの会話や関わりを楽しむことができた。</p> |
| <p>今後の課題</p> |
| <p>① 今後も学校や相談支援事業所、保護者の皆様と連携し、また研修への参加を重ねて行くことで、障害特性や、本人の個性、能力など理解し、落ち着いて過ごせるような対応の方法を職員全体で理解していきたい。</p> <p>② 興味の移り変わりがあるので、どんなことに興味があるのか、どんな遊びに「はまる」のかなどをよく観察していく。常に本人が落ち着いて過ごせる遊びを探し、提案していく努力が必要。</p> <p>③ 好ましくない行動をしてしまう場合には、どのような行動をすればよいのかを伝え、好ましい行動が出来たときにはほめていくなどの対応を徹底する。必要に応じて学校や、相談支援事業所への聞き取りや、支援会議の要請なども行っていくようにする。</p> <p>④ 長期休暇など、体験を広げて行く機会となる為、活動場所の情報収集に努め、楽しく安全に過ごせる場所を増やして行く。</p> |
| <p>支出額</p> |
| <p>14,321,778 円</p> |

| 仮認定特定非営利活動法人フリースペース・うえるびー第11期 | |
|---|---|
| 事業名 | |
| 放課後等デイサービス「おれんじ坂口」 | |
| 目的 | |
| <p>児童福祉法等関係法令の理念に則り事業を行う。</p> <p>① 障がい児の生活能力の向上のために必要な訓練を行う。</p> <p>② 社会との交流を図ることができるよう、身体及び精神の状況やその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。</p> <p>③ 上記①②のために個別支援計画に基づき必要なサービスを適切に行う。</p> | |
| 実施概要 | |
| ① | 年間稼働日数 239日 |
| ② | 延べ利用人数 2,361人/1日当の定員 10人 |
| ③ | <p>指導・支援の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「おれんじ」に着いたら、まずうがい手洗いをする。 2. 課題ルームで個々の課題に取り組む。 3. それが済んだらフリールームで、好きな事、得意なことをして過ごす。 4. 帰りの会の当番、配膳の手伝い、食器洗いの手伝い、帰りのあいさつ等それぞれの役割をやり遂げる。 <p>上記の生活能力の向上のためには外から「おれんじ」に入るとき及び食事の前の手洗い、あいさつなど基本的な生活動作やコミュニケーションを繰り返し練習するとこと、構造化や情報を視覚化することで子どもの理解を助ける方法を工夫している。</p> |
| ④ | <p>その他の活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クリスマス会 2014年12月24日 おれんじ坂口にて 2. 野菜の植え付け・収穫体験（じゃがいも、枝豆） 春から秋にかけて おれんじ坂口（東側花壇） 3. ビニールプールを使った水遊び 夏休み中 おれんじ坂口駐車場 |
| 成果 | |
| <p>① 「おれんじ」での過ごし方についてはほとんどの子どもが身につけてきた。</p> <p>② 課題が終わったら好きなことができる」という意識付けができてきた。</p> <p>③ 帰宅時間の25分前に片づけ → 本の読み聞かせ → 帰りの会 という流れも定着しつつあり、落ち着いた雰囲気での帰りの車に乗れることが増えてきた。</p> | |

- ④ 他の子どもと関わるのが苦手な子どもも、同じ空間で過ごすことや、他の子どもの声が聞こえてる中で過ごすことに慣れつつある。
- ⑤ 「クリスマス会」は、榛南ライオンズクラブの協力により、サンタクロースの登場、プレゼント手渡し等楽しいひとときとなった。この行事はプレゼントをもらうだけではなく、大人とのかかわり方を学ぶ機会となった。
- ⑥ 野菜の「植え付け・収穫体験」では、野菜のでき方をなまで見ることができたと同時に調理しておいしく食べることができた。この活動では土や水を触ることの苦手な子供にとっては貴重な体験となった。
- ⑦ 「水遊び」は、屋外で遊ぶことで気分転換になるとともに体も鍛えられた。その中では相手の「嫌がることはしない」といったルールを指導する機会になった。

今後の課題

- ① 興味の移り変わりが激しく、ある程度の時間じっくりと取り組むことのできる遊び・趣味が見つかっている子はまだ少ない。
- ② どんなことに興味があるのか、どんな遊びに「はまる」のか、更に試行錯誤していきたい。
- ③他の子どもとのトラブルが少なく、かつそれぞれの子が快適に過ごせる方法を探し続けたい。

支出額

16,734,941

別紙 2-4

| | |
|--|---|
| 仮認定特定非営利活動法人フリースペース・うえるびー第11期 活動報告書2014年10月1日~2015年9月30日 | |
| 事業名 | |
| 放課後等デイサービス「おれんじ中溝」 児童発達支援「いちご」 | |
| 目的 | |
| 児童福祉法等関係法令の理念に則り事業を行う。 ① 主に重症心身障害児を対象とし、医療ケア、機能訓練等必要に応じた支援を行う。 ② 社会との交流を図ることができるよう、身体及び精神の状況やその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。 ③ 上記①②のために個別支援計画に基づき必要なサービスを適切に行う。 | |
| 実施概要 | |
| ① | 年間稼働日数 120日 |
| ② | 「おれんじ中溝」 延べ利用人数 303人/1日当の定員5人 「いちご」利用者 ゼロ |
| ③ | 指導・支援の流れ 1. 学校へのお迎え。 2. おれんじ着後、手洗い、排泄介助、医療ケア等、個々に沿ったケアを行う。 3. 水分補給、おやつ介助。 4. 課題やフリールームでの活動、機能訓練（水曜日）を行う。 5. 帰りの会を行い、自宅まで送迎する。 ※随時医療ケアを行う。 |
| ④ | その他の活動 1. 防災訓練：9月 2. 誕生日会：5月、6月、8月、9月 3. 夏休み：おやつ作り、トーマスを見に行こう、大塚製薬工場見学 |
| ⑤ | 放課後等デイサービス「わかあゆ」 実地研修 1. おやつ介助、水分補給、移乗について（中溝） 4月3日 2. 活動・1日の流れについて（わかあゆ） 4月20、24日 3. 医療ケア見学・実地研修（わかあゆ） 4月25日 4. Aさんの介助について（わかあゆ） 6月13日 |
| ⑥ | 児童発達支援「つくしの家」 見学 6月 |

| |
|---|
| 成果 |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 保護者様、放課後等デイサービスわかあゆ様からの指導や助言を受け、施設内の環境整備、利用者一人一人の介助方法を学び、現在契約利用者数10名となった。 2. 保護者・学校・他事業所との連携を密にし、情報共有することで支援の一元化を図ることができ、安心して利用してもらえることにつながっている。 3. 利用者数も増え、友達とのつながり作りも支援員を介しながら少しずつできているように感じる。 |
| 今後の課題 |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療ケアや介助度が高い利用者さんが多い中でも、利用者さんに合った課題を設定し、取り組んでいけるようにしたい。 2. ベッドで過ごすことの多い利用者さんの活動への参加について工夫していきたい。 3. 感染症等については知識を取得して、対策を万全にしていく。 |
| 支出額 |
| 10,121,672 |

別紙 3

| 仮認定特定非営利活動法人フリースペース・うえるびー第11期 活動報告書2014年10月1日~2015年9月30日 | | | | | | | | | |
|--|-------------|-------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------|----------|
| 事業名 | | | | | | | | | |
| 多機能型 就労継続支援B型事業「りんご」 生活介護事業「かりん」 | | | | | | | | | |
| 目的 | | | | | | | | | |
| <就労継続支援B型事業「りんご」> 利用者が自立した日常生活および社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行います。 | | | | | | | | | |
| <生活介護事業「かりん」> 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、日常生活上必要な介護、創作余暇活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行います。 | | | | | | | | | |
| 実施概要 | | | | | | | | | |
| <活動実績> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;"><りんご></th> <th style="width: 50%; text-align: center;"><かりん></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間稼働日数 240日</td> <td>年間稼働日数 240日</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数 502人</td> <td>延べ利用者数 739人</td> </tr> <tr> <td>実利用者数 3名</td> <td>実利用者数 5名</td> </tr> </tbody> </table> | | <りんご> | <かりん> | 年間稼働日数 240日 | 年間稼働日数 240日 | 延べ利用者数 502人 | 延べ利用者数 739人 | 実利用者数 3名 | 実利用者数 5名 |
| <りんご> | <かりん> | | | | | | | | |
| 年間稼働日数 240日 | 年間稼働日数 240日 | | | | | | | | |
| 延べ利用者数 502人 | 延べ利用者数 739人 | | | | | | | | |
| 実利用者数 3名 | 実利用者数 5名 | | | | | | | | |
| <生産活動> <p>自主製品製造： 紅茶（パック・リーフタイプ） 焼菓子（マフィン、クッキー、パウンドケーキなど） その他（ジャム、ゼリーなど） アクリルたわし、雑巾セットなど</p> <p>販売先： 毎週水曜日 にじいろ市場（島田市役所）、保健センター ジャパンバザール、芭蕉庵、えん、てのひら、いたわりの湯 ひこばえ、静鉄ストア、矢崎牧之原、蓮華寺池販売会</p> <p>イベントなど： しましんふれあい市、特別支援学校販売会、ほん和花市（冬、夏） 初倉軽トラ市、マナビィまつり、フェスタしまだ 島田フリーマーケット、柴本お茶摘み体験会、ふじようまつり 島マママーケット、蓮華寺池 オーガニックマーケット</p> | | | | | | | | | |

| |
|--|
| <p>オールしずおかベストコミュニティ アピタ販売</p> <p>役 務 提 供： オレンジネットワークチラシ封入、古紙回収、アラミド分別作業、 ネット巻き作業</p> |
| <p><その他活動></p> <p>防 災 訓 練： 4月、8月</p> <p>誕 生 日 会： 4月、5月、8月、10月</p> <p>昼 食 作 り： 島田汁と炊き込みご飯、カレーとデザート、流しそうめん</p> <p>お楽しみ会： クリスマスチャリティー公演 劇団ミュージカル「ふたりのロッセ」ご招待 クリスマス会、一輪車ダンス見学、初詣、節分豆まき、お茶摘み体験、 トーマス号を見に行こう、七夕作り</p> |
| <p><実習受け入れ></p> <p>藤枝特別支援学校1年生2名、2年生1名、3年生3名 あしたか太陽の丘1名、一般1名</p> |
| <p>成果</p> |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 好天の場合、午前中は岸の畑に行き、農作業カウオーキングを実施し、午後は、作業中心のプログラムが身につけてきた。 2. 紅茶の袋詰めやチラシ挟み込み作業では、利用者の特性に合わせて作業内容を決め、作業を分担して完結する流れができてきた。 3. アラミド分別作業では、出来高票を作製し、達成感を味わえるような支援ができた。 4. 月1回のミーティングを開催することにより、利用者の特性などを共有することができ、個別支援計画に沿っての支援が定着してきた。 5. 農作業に専門の職員を配置したことにより、畑が整備され、季節の野菜もたくさん収穫できた。 |
| <p>今後の課題</p> |
| <p>平成26年4月に、それぞれ定員10名で開所したが、なかなか利用者が増えない現状である。藤枝特別支援学校はもとより、吉田特別支援学校その他の関係機関からの見学や実習も随時受け入れてきた。また、特別支援学校での事業所説明会やふじよう祭りなどへ積極的に参加し、啓発活動にも力を入れた結果、来年4月には6名の利用者が増える予定である。</p> <p>一人ひとりの特性に合わせた支援をするために、今取り組んでいる作業の見直しや作業の細分化なども検討していきたい。また、生活介護事業「かりん」では、余暇支援を充実させることのできるプログラムを取り入れてよりよい支援をしていきたい。</p> |
| <p>支出額</p> |
| <p>21,461,413</p> |

別紙 4

| | |
|---|----------|
| 仮認定特定非営利活動法人フリースペース・うえるびー第11期 活動報告書2014年10月1日~2015年9月30日 | |
| 事業名 | |
| 地域生活支援事業「移動支援事業」 | 福祉有償運送事業 |
| 目的 | |
| <p><移動支援事業></p> <p>利用者様が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者様の状況に応じ、外出時における移動の援護を行います。また、自宅で介護する方が病気など一定の理由により、一時的に介護することができなくなった時に、施設において宿泊を伴わない支援を行います。</p> <p><福祉有償運送></p> <p>道路運送法第79条の3の規定に基づき、タクシー等の公共交通機関によっては要介護者、身体障害者等に対する十分な輸送サービスが確保できないと認められる場合に実費の範囲内で運行します。国土交通省から許可された事業ですので、利用者様の利便性を第一に安全な運行を行います。</p> | |
| 実施概要 | |
| <p><移動支援事業></p> <p>年間稼働日数 350 日 延べ利用者数 1,046 人</p> <p><福祉有償運送></p> <p>年間稼働日数 104 日 延べ利用者数 106 人</p> | |
| 成果 | |
| <p>移動支援事業は島田市をはじめとする近隣市町の地域生活支援事業であり、うえるびーが発足した当初から市町の委託を受けて続けている事業です。はじめは、支援学校や支援学級への登下校の支援をしていましたが、当時は大人の利用者は多くはありませんでした。ところが2年ほど前から大人の利用者が増えてきました。その理由は今まで家族中心に生活してきた方たちが、社会資源を利用して地域と関係を持つことの大切さを認められてこられたと推測できます。</p> <p>福祉有償運送は移動支援を補完するもので、有償でもあり、利用者は限定されています。</p> | |
| 今後の課題 | |

利用者様に様々な社会資源の情報を提供し、幅広い利用方法を提案するためには、事業所としての情報収集や計画策定の力をつけていくよう努力してまいります。

支出額

7,984,623

別紙 5

| |
|--|
| 仮認定特定非営利活動法人フリースペース・うえるびー第11期 活動報告書2014年10月1日~2015年9月30日 |
| 事業名 |
| ノーマライゼーション実現事業・社会参加支援事業 |
| 目的 |
| <p>定款 第3条</p> <p>この法人は、静岡県に居住する障がいを持つ人とその家族を中心にすべての人々に対して、地域の経済活動に参加しながら生活することができるよう支援する事業をおこなう。また、ITを駆使した意思伝達技術の習得、自然とのふれあい、文化的な活動、国際交流等を行うことにより、人の尊厳を認め合うノーマライゼーションの社会の構築をめざす事業を行う。これらの事業を通して、誰もが安心して地域で暮らしていけるような福祉社会に寄与することを目的とする。</p> <p>定款第3条に定めた目的に従って、ノーマライゼーション実現事業は多くの方に障がいについて理解を深めてもらうための講演会を実施することとする。社会参加支援事業は法の範囲ではできない体験活動を企画し、実施における支援をすることとする。</p> |
| 実施概要 |
| <p>ノーマライゼーション実現事業</p> <p>2015年12月18日に実施する脳科学研究出張講演「自閉症を理解するために」の準備活動を行った。第10期は2014年7月に篁一誠先生の講演会を実施したので、第11期においても同時期に計画をしたが、講師の先生のご都合で2015年12月18日に実施することになった。したがってこの日程は第12期となるために、第11期の事業は「準備」という状況となる。</p> <p>社会参加支援事業</p> <p>2014年12月14日 クリスマス会</p> |
| 成果 |
| <p>ノーマライゼーション実現事業は本年12月18日の講演に向けての準備は5月から動き出した。昨年に引き続き大きな講演会の企画なので、近隣市町の障がい者福祉担当者や教育委員会そして福祉サービス提供事業所の方々、民生委員、企業の皆様に協力を仰いだ。特に今年は地域の高等学校の先生方や病院、看護学校、医師会等に働きかけたことで、専門職の方の事前申し込みも多かった。地域全体として障がい者を理解し支援する意識の醸成を感じ取ることができた。</p> <p>社会参加事業</p> |

クリスマス会は恒例の行事になっている。第 11 期は利用者様のピアノと琴の演奏、茶間屋ショーゴの人形劇、バンド演奏があり、みんなでクリスマスソングを歌いケーキを食べた。参加者は利用者さん、ご家族、そのお友達、スタッフを加えると 100 人を超えた。障がいのあるなしを超えた集いとなった。

今後の課題

2015 年 5 月に仮認定 NPO 法人となり、皆様からご寄付をいただくことで、ノーマライゼーション実現事業・社会参加支援事業を実施してまいります。したがって、社会への波及効果のある企画を立てること、多くの参加者を募ること、有効にお金を使うこと、情報公開を速やかに行うことなどが課せられます。ご寄付くださる方、障がいのある方の期待に沿うよう実行してまいります。

支出額

84,494 円

この法人の目的を達成するために必要な事業

うえるびー研修報告

| 年月日 | 参加人数 | 内容 | 担当部署 |
|------------|------|--|---------|
| 2014.10.30 | 30 | 六次産業化研修会 | りんご・かりん |
| 2014.11.19 | 24 | 応急手当講習会(講師：市民による救急蘇生普及島田市連絡協議会指導員) | おれんじ柳町 |
| 2014.12.10 | 21 | 地震防災教室(島田市危機管理課による出張講座) | おれんじ坂口 |
| 2015.1.21 | 24 | 研修報告(障害者虐待防止研修会) | おれんじ柳町 |
| 2015. 2.20 | 33 | 施設見学 藤枝「アクシア」 | おれんじ初倉 |
| 2015.3. 18 | 24 | 長谷川幸三氏による講演「当事者の立場で思うこと」 | おれんじ坂口 |
| 2015.4.16 | 26 | 車いすと福祉車両の扱い方 | 居宅等事業所 |
| 2015.5.24 | 16 | 静岡県自閉症協会総会後の講演に参加「静岡県における自閉症スペクトラムの支援システムを考える」 | りんご・かりん |
| 2015.6.17 | 28 | 感染症について | おれんじ中溝 |
| 2015.7.15 | 24 | 発達障害連続講座 研修報告 | おれんじ柳町 |
| 2015.9.14 | 51 | 障害者年金について 保護者の方を囲んでの意見交換 | おれんじ初倉 |

この法人の目的を達成するために必要な事業

外部研修報告

| 年月日 | 参加人数 | 内容 | 主催 |
|------------|------|--|---------------------|
| 2014.11.7 | 1 | H26 年度サービス管理責任者等研修（児童） | 静岡県 |
| 2014.11.17 | 1 | H26 年度サービス管理責任者等研修（児童） | 静岡県 |
| 2014.11.21 | 1 | H26 年度サービス管理責任者等研修（児童） | 静岡県 |
| 2014.11.21 | 1 | 介護職員 たん吸引研修（第3号研修）基本研修 | 静岡県 (実施：ひまわり事業団) |
| 2014.12.5 | 5 | 障害者虐待防止研修 「知らないうちに虐待者となってしまうことのないように」 | 島田市福祉課 |
| 2015.2.4 | 1 | 相談支援初任者研修 | 静岡県 |
| 2015.2.5 | 1 | 相談支援初任者研修 | 静岡県 |
| 2015.2.8 | 1 | 相談支援初任者研修 | 静岡県 |
| 2015.2.15 | 1 | 相談支援初任者研修 | 静岡県 |
| 2015.3.13 | 3 | 発達障害の理解と支援 「幼児から成人まで～社会参加できる大人を育てるために～」 | 藤枝市子ども家庭相談センター |
| 2015.3.18 | 1 | 相談支援初任者研修 | 静岡県 |
| 2015.4.3 | 2 | わかあゆ実地研修（補水、オムツ交換、 移乗の仕方） | わかあゆ |
| 2015.4.20 | 1 | わかあゆ実地研修（利用者様の状態にあった介助の 仕方と医療ケアについて） | わかあゆ |
| 2015.4.24 | 1 | わかあゆ実地研修（利用者様の状態にあった介助の 仕方と医療ケアについて） | わかあゆ |
| 2015.4.25 | 1 | わかあゆ実地研修（利用者様の状態にあった介助の 仕方と医療ケアについて） | わかあゆ |
| 2015.5.14 | 1 | 重度訪問介護従業者養成研修 | 静岡県 (実施：ひまわり事業団) |
| 2015.5.15 | 1 | 重度訪問介護従業者養成研修 | 静岡県 |

| | | | |
|-----------|----|--|----------------------|
| | | | (実施：ひまわり事業団) |
| 2015.5.18 | 1 | 重度訪問介護従業者養成研修 | 静岡県 (実施：ひまわり事業団) |
| 2015.5.24 | 16 | 自閉症協会の総会後の講演(再掲) | 静岡県自閉症協会 |
| 2015.6.15 | 1 | わかあゆ実地研修(利用者様の状態にあった介助の仕方と医療ケアについて) | わかあゆ |
| 2015.6.19 | 1 | 肢体不自由児療育指導者講習会 「肢体不自由児の特性理解等」 | 静岡県肢体不自由児協会 |
| 2015.6.20 | 1 | 肢体不自由児療育指導者講習会 「肢体不自由児の特性理解等」 | 静岡県肢体不自由児協会 |
| 2015.6.26 | 2 | 島田市発達障害連続講座① 「思春期(高校)から青年期の発達障害の理解と対応について」 | 島田市福祉課 |
| 2015.6.26 | 1 | 相談支援従事者初任者研修 | 静岡県健康福祉部障害者支援局障害者政策課 |
| 2015.6.30 | 1 | 相談支援従事者初任者研修 | 静岡県健康福祉部障害者支援局障害者政策課 |
| 2015..7.1 | 2 | 療育相談会 | 静岡県自閉症協会志太榛原地区 |
| 2015.7.3 | 1 | 相談支援従事者初任者研修 | 静岡県健康福祉部障害者支援局障害者政策課 |
| 2015.7.6 | 1 | 相談支援従事者初任者研修 | 静岡県健康福祉部障害者支援局障害者政策課 |
| 2015.7.7 | 2 | 自閉症支援講座 「自閉症の特性についての理解と具体的な支援方法」 | 静岡県発達障害者支援センター |
| 2015.7.9 | 2 | 発達障害連続講座② 静岡大学教育学部 教授 香野毅氏による講演 「思春期から青年期の発達障害の理解と対応について」 | 島田市福祉課 |
| 2015.7.10 | 6 | H27年度志太榛原地域自立支援推進会議 ひとプロジェクト「子ども発達支援研修」 | 志太榛原地域自立支援推進会議 |

| | | | |
|-----------|---|---|--------------------------|
| 2015.7.10 | 4 | 子ども発達における視点と概説 | 志太榛原地域尻湯支援 推進会議 |
| 2015.7.24 | 1 | 肢体不自由児療育指導者講習会 「肢体不自由児の特性理解等」 | 静岡県肢体不自由児協 会 |
| 2015.7.25 | 1 | 肢体不自由児療育指導者講習会 「肢体不自由児の特性理解等」 | 静岡県肢体不自由児協 会 |
| 2015.8.1 | 2 | 自閉症支援講座 「自閉症の特性についての理解と具体的な支援方 法」 | 静岡県発達障害者支援 センター |
| 2015.8.1 | 3 | H27 年度居宅介護職員初任者研修 | 静岡県（実施：おのこ ろ島） |
| 2015.8.2 | 3 | H27 年度居宅介護職員初任者研修 | 静岡県（実施：おのこ ろ島） |
| 2015.8.8 | 3 | H27 年度居宅介護職員初任者研修 | 静岡県（実施：おのこ ろ島） |
| 2015.8.9 | 3 | H27 年度居宅介護職員初任者研修 | 静岡県（実施：おのこ ろ島） |
| 2015.8.22 | 3 | H27 年度居宅介護職員初任者研修 | 静岡県（実施：おのこ ろ島） |
| 2015.8.23 | 3 | H27 年度居宅介護職員初任者研修 | 静岡県（実施：おのこ ろ島） |
| 2015.8.28 | 1 | 肢体不自由児療育指導者講習会 「肢体不自由児の特性理解等」 | 静岡県肢体不自由児協 会 |
| 2015.8.29 | 1 | 肢体不自由児療育指導者講習会 「肢体不自由児の特性理解等」 | 静岡県肢体不自由児協 会 |
| 2015.8.29 | 2 | 福祉のつどい 「障がい児を育てるといこと」 | 島田市社会福祉協議会 |
| 2015.9.5 | 3 | H27 年度居宅介護職員初任者研修 | 静岡県（実施：おのこ ろ島） |
| 2015.9.6 | 3 | H27 年度居宅介護職員初任者研修 | 静岡県（実施：おのこ ろ島） |
| 2015.9.7 | 1 | 相談支援従事者初任者研修 | 静岡県健康福祉部障害 者支援局障害者政策課 |
| 2015.9.12 | 3 | H27 年度居宅介護職員初任者研修 | 静岡県（実施：おのこ ろ島） |
| 2015.9.13 | 3 | H27 年度居宅介護職員初任者研修 | 静岡県（実施：おのこ |

| | | | |
|----------------|---|---|--------------------------|
| | | | ろ島) |
| 2015.9.18 | 7 | 療育施設職員発達障害研修 「発達障害早期発見早期療育」 | 静岡県健康福祉部障害 者支援局障害福祉課 |
| 2015.9.18 | 1 | H27 年度同行援護従業者養成研修 「一般課程と情報支援等追加課程」 | 静岡県（実施：静岡県 補助犬支援センター） |
| 2015.9.26 | 2 | 自閉症支援講座 「自閉症の特性についての理解と具体的な支援方 法」 | 静岡県発達障害者支援 センター |
| 2015.9.26 ～ | 3 | H27 年度居宅介護職員初任者研修 | 静岡県（実施：おのこ ろ島） |

第 2 号議案

第 11 期 活動決算（別紙）

監査報告

監査報告書

平成27年11月13日

特定非営利活動法人 フリースペース・うえるびー

代表理事 津田 恵子 様


特定非営利活動法人フリースペース・うえるびーの監査に関し、下記の通り
監査報告書を提出いたします。

監査報告

私たち監事は2014年10月から2015年9月までの営業年度の証票を監査
いたしました結果、適正かつ正確であることを認めます。

特定非営利活動法人フリースペース・うえるびー

監事 田井原 正 

監事 村松 庄太郎 

第3号議案

役員を選任について

任 期 平成26年10月1日～平成28年9月30日

| | | |
|-------|--------|----|
| 代表 理事 | 津田 恵子 | |
| 副代表理事 | 福田 薫 | |
| 副代表理事 | 榎田 浩幸 | |
| 理 事 | 金田 明美 | |
| 理 事 | 秋野 さち子 | |
| 理 事 | 富澤 安夫 | |
| 理 事 | 杉本 隆史 | 辞任 |
| 理 事 | 赤池 賢子 | |
| 理 事 | 鈴木 重義 | |
| 監 事 | 由井原 正 | |
| 監 事 | 村松 庄太郎 | |

第4号議案 役員報酬について

定款21条に従って代表理事に報酬を支給する。

2015年12月から2016年11月までの報酬額を年額2,160,000円とする。

第5号議案

第12期 活動計画（案）

「私たちうるびーは 障がいのある人もない人もそれぞれが自分らしい生き方ができる地域社会を ともに創るために活動していきます。」という理念に基づいて、障がいのある人たちが地域の中で、地域の人々とともに生活していくことができる社会の実現を目指して活動してまいります。

そのためには社会の変化に対応した健全な運営を行い、下記の事業を計画的に実施してまいります。

1. 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業は安全・安心のもと、信用と実績を積み重ねてまいります。

実施事業 居宅介護サービス、同行援護サービス、
行動援護サービス、重度訪問介護サービス
多機能型 生活介護事業・就労継続支援 B 型事業

2. 児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業では一人ひとりの特性に合った支援をしながら、それぞれの社会性の芽生えを尊重してまいります。

実施事業 おれんじ柳町、おれんじ初倉、おれんじ坂口
重症心身障がい児対応放課後デイサービスおれんじ中溝

3. 移動サービス事業として各市町の実施する地域生活支援事業の移動支援事業を実施して、充実した地域生活が送れるよう支援してまいります。

実施地域 島田市、藤枝市、焼津市、牧之原市、川根本町、吉田町
併せて、有償運送は安全運転のもと、利用者様の行動範囲の拡大に寄与してまいります。

実施地域 島田市、藤枝市、牧之原市、吉田町

4. ノーマライゼーション実現事業は多くの人に障がいを理解してもらうための講演会等を企画してまいります。

5. 社会参加支援事業として他の NPO や市民活動グループ・地域の人々と連携して、障がいがある人もない人もともに活動できる場を提供してまいります。

以上を実現するために人材の育成に力を注いでまいります。

第 6 号議案

第 12 期 活動予算 (案) (別紙)

第 7 号議案

会費の額について

特定非営利活動法人フリースペース・うえるびーの会費は次の通りとする。

1.会費の額

| | |
|--------|---------|
| ○正 会 員 | 6,000 円 |
| ○賛助会員 | 6,000 円 |
| ○一般会員 | 3,000 円 |

2.年度途中の入会者についても上記金額とする。

3.年度途中の退会についても、定款第 13 条により、
会費は返還しないものとする。

第 8 号議案

借入金について

長期借入れは行わない。